



きらい★きくにし

文責 校長 佐藤 正貴

前期後半がスタートします。

夏休みが始まって10日が経過した7月28日に「令和8年熊本地震」が発生しました。この災害により多くの尊い命も失われましたことに哀悼の意を表します。また、この地震により多大な被害がありました。今後の復興に向けて、今の自分にできることを考え続けていきたいと思ひます。

さて、本日より前期後半がスタートします。休み前の集会で、私は児童に2つのことを話しました。1つは、楽しい夏休みを過ごすためには「命を守ること」ということです。自分の命を自分で守るために必要な事として、規則正しい生活が続ける事、交通ルールをはじめとする規則や家庭での約束事を守ることが重要であることを話しました。2つ目は、充実した夏休みにするために、自分自身で計画を立てて過ごす努力をしてほしいということです。1日の生活の中に、やるべき事、やりたいこと、**家族のためにできる事**をいれて生活してほしいという話をしました。

お子様の生活の様子は如何だったでしょうか。充実した夏休みを過ごすことができた児童もいるでしょう。計画はしたもの、十分とは言えない状況の児童もいるでしょう。中には、好きなことは頑張ったけど…、という児童もいると思ひます。大切なことは、出来た場合は、それを無理なく継続させる方法を考えたり、深化させたりする努力をすることです。十分な成果を得ることができなかった場合は、その原因を考えて、改善していくことです。できなかった原因を知ること、自分自身を成長させることになります。勿論、改善するための努力は必要です。

夏休みの生活を振り返り、児童個々が前期後半の自分自身の生活面、学習面においての課題を自覚しながら、自分にとって充実した日々を送ることができるよう、学校としても教育活動の充実を図っていきます。

地震の被害について

安心安全メールでもお知らせしましたが、校舎内外において一部損壊がありましたが、教育委員会や専門業者に検査をしていただいた結果、使用に問題はないとの判断を頂いております。今回の地震は揺れも大きかったため、恐怖や不安を抱えている児童もいるかと思ひます。気になる事などがございましたら、学年部の職員または主幹教諭、教頭にご相談ください。

夏休みは何している。。。。

毎年のように夏休み前になると、「教員は夏休みがあつていいなあ。」という声や記事などを見ます。確かに、児童が登校していないため、有給休暇を取りやすい状況ではあります。しかし、この夏休みは、前期前半の成果や課題を整理して、前期後半からの教育活動を充実させるために必要な研修等に取り組む重要な時期でもあります。また、年々教員を希望する人材が減ってきている中、日々の超過勤務

時間を削減する対策等の検討を重ねる必要もあります。まとめると、児童の学びが充実するための工夫改善を重ねている一方で、これからの人材が「教員になろう」と思えるような職場環境を創造しているということです。特に教職員一人一人が、自分自身の授業力や学級経営力を向上させるための研修を大切にしています。教育の根幹となる人権教育、特別支援教育をはじめ、現代社会に対応するためのICT活用研修、自分自身の課題に応じたテーマ研修など、盛りだくさんの学びがありました。このことを前期後半からの教育活動にしっかりと役立てていきます。



人権教育研修



道徳研修【講師招聘】



特別活動【職員が講師】

愛校作業、お世話になりました。

PTA役員の皆様におかれましては、事前の計画、準備、当日の運営、ありがとうございました。当日参加された保護者、児童の皆さん、気温が上がり、汗が噴き出す中、丁寧に作業していただき、ありがとうございました。朝早い時間とは言え、すでに30度を超える中、短時間で参加された方々が個々の判断で段取り良く作業をしていただいたおかげで、あっという間にきれいになりました。前期後半を迎える環境が整いました。

